

【第1号議案】2025年度事業報告

特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会

1. 事業の成果

NPO法人設立4年目となる2025年度は「2025年度業務委託事業計画書」に基づき、地域で暮らす外国人と地域住民に対して、常設窓口での情報提供・相談、日本語教室、学習支援教室、各種多文化交流イベントの開催など、国際交流活動事業や支援を行い、多くの成果を上げました。

会全体としては、金沢国際交流ラウンジ運営に関する入札（2025年10月～2026年2月）を経て、今後もラウンジ運営を担当する団体として認められました。ボランティアの人数は141人（2026年2月）で、区役所とともに近隣の横浜市大、関東学院大学との交流活発化を進め、学生会員の増加を図ることができました。組織力の充実や業務効率の改善も大切です。事務局の設置（2025年7月～）や、Google フォームを活用した業務改善、情報共有に着手しました。ボランティアがのびのびいきいきと活動できる会としていきます。

各部門の活動内容の詳細は以下の通りです。今後も、外国人を含む地域住民にとって、ともに暮らしやすい地域社会を実現し、多文化共生のまちづくりに寄与していきます。

（1）窓口情報提供・相談事業（窓口部）

今年度のラウンジ窓口での外国人住民の相談総件数はほぼ前年度実績（1521件）並みの1483件であった。相談の内訳は情報提供/生活相談関連（例：教育、行政手続など）が881件、ラウンジ事業関連（例：通訳翻訳、日本語学習など）が602件であった。使用言語として、やさしい日本語、スペイン語、英語、中国語などを用いて相談に応じた。年度を通じて多種多様な内容の相談に対して的確でスムーズな対応が出来た。

なお窓口スタッフのスキルアップのために、外部講師を招いて「やさしい日本語」の基礎について研修を行った。

（2）日本語教室事業（日本語部）

日本語教室として多くの学習者を受け入れるため、1対Nの学習方式の導入などの施策に取り組み、26カ国、延べ2,083人の学習者の支援を行った。また、学習者・支援者の交流を目的に各教室でしゃべろう会、スピーチ発表会を開催した。

防災意識の向上や地震時等の対応のため、教室で簡単な日本語で防災学習を実施するとともに地震を想定して避難訓練を行った。

支援者の知識・スキル向上のためブラッシュアップ研修を実施し、今後の支援者確保のため2026年4月から6月実施に向け日本語ボランティア入門講座の準備を行った。

（3）子ども学習支援事業（子ども学習支援部）

かもめ教室は週4回、夏休み期間には特別教室を行い、延べ179回、生徒延べ2,186人、ボランティア1,811人で実施した。ボランティア人数は昨年より増え特に大学生、高校生が増えた。来日したばかりの子どもは、学校入り込み担当を通して母語支援派遣につながった。学校は栄区も含み15校の生徒にボランティアが支援し、その生徒は半数以上かもめ教室に参加し、学校の個人面談等は保護者等通訳で支援者が行った。

3月の「みんなで発表会」は準備をして発表し、生徒は自信をもつことができた。生徒、親、学校の先生、ボランティア192人参加した。

(4) 情報広報・通訳派遣・翻訳仲介/実施事業(情報広報部)

外国人市民を含む地域住民や団体への支援・情報提供を目的に活動した。

通訳派遣・翻訳事業では、行政・学校からの依頼に応え通訳派遣を86件行った。また、市ボラで対応できない地域住民・団体からの依頼による通訳・翻訳対応を合わせて94件行った。

ラウンジニュースの企画・発行では、外国人にもわかりやすく、読者を引きつける工夫を盛り込んだ紙面構成に努めて、71号〜73号を各1000部発行した。

ホームページの更新・公開では、多言語(日・英・中・西)で外国人に役立つ情報提供、スマホでも見やすい工夫などを行った。また、Instagramを活用し広報を行った。

(5) ラウンジフェスティバル事業(ラウンジフェスティバルグループ)

金沢公会堂でラウンジフェスティバルを開催し、約380名が参加した。

- ・ステージでの発表と会議室での体験交流イベントとの同時進行でそれぞれ楽しんでもらえるよう取り組んだ。
- ・広報活動として独自制作のチラシを作成し各所への掲示・配架はもちろん、横浜市広報・地域のローカル広報誌・金沢シーサイドFMへの出演による広報、区内の学校や近隣ラウンジへチラシ紹介する等の活動を行った。
- ・ハワイエではラウンジの活動紹介と国際支援団体によるミャンマーとラオスの紹介を行った。
- ・地域の学生にもたくさん参加してもらったことで今後の地域での活動がより一層期待できる。

(6) フリーダムサロン事業(フリーダムサロングループ)

今年度は年24回開催し、外国人は18か国延べ198人、日本人は延べ332人、合計530人参加、平均して1回の参加人数が約22名(前年度比10%増)になった。

- ・地域の日本語を話したい外国人、外国人と交流したい日本人を受け入れることができた。
- ・地域の大学の学生が会員になってくれた。
- ・9月は防災啓発月間として、1回目は消防署の協力によるAED講習、救急車の呼び方、2回目は防災用品の紹介・備蓄食品の試食を行った。12月はイヤーエンドパーティーでコンサート、ビンゴゲーム、立食buffetを行い、どちらもたくさんの外国人親子の参加があった。
- ・交流することによってお互いの文化・習慣の違いや、共通点を発見し理解が進んだ。また、参加者同士が顔見知りになることで親しみを感じ、話しやすい雰囲気づくりができた。

(7) 異文化理解・多文化共生・日本文化体験事業(交流企画グループ)

地域の住民が異文化を知り、お互いの文化の理解を推進し外国人とともに生活する中で、外国人の現状を聞き、地域で何ができるかを考えることができた。また、9人の市大生がスタッフとして参加している。このために、以下の取り組みを実施し合計約130人の参加を得た。

1. 外国人の為の日本文化体験『みんなで楽しもう！にほんのあそび』＜関東学院大とのコラボ＞
2. 外国人の為の散歩ツアー『みかんがりへいこう』＜横浜市大・横濱金澤シティガイド協会とのコラボ＞
3. 多文化理解講座『防災体験ツアー』
4. 多文化共生講演会『沖縄県と中南米のつながりについて学ぼう！』＜日本ペルー共生協会神奈川への協力＞

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 外国人支援に関する事業

ア 常設窓口情報提供・相談事業

【内容】外国の方に必要な生活情報の提供、および様々な相談や問い合わせに対応した。

【日時】通年

【場所】事務所（ラウンジ）

【従事者人員】12 人

【受益対象者】金沢区及び近隣に在住の外国人 1,500 人

【支出額】7,411,914 円

イ 日本語教室事業

【内容】在住外国人が日本で生活し、働き、学ぶことができるように、地域ボランティアにより日本語学習支援を行う日本語教室を開催した。

【日時】通年 週4回 日曜日、火曜日、木曜日、土曜日 10:00～11:30（8月を除く）

【場所】横浜市立大学シーガルセンター2階 国際交流室1・2

【従事者人員】ボランティア51人

【受益対象者】金沢区および近隣に在住の外国人（高校生以上） 66人

【支出額】1,582,889 円

ウ 子ども学習支援事業

【内容】外国につながる児童・生徒を対象に、地域ボランティアによる日本語学習支援と教科学習支援を行う「かもめ教室」を開催した。学校から母語支援依頼を受け、地域のボランティアを斡旋した。母語支援ボランティアなどは、学校に赴き支援を実施し、かもめ教室と連動した支援を行った。

【日時】通年

【場所】かもめ教室は以下の4教室で開催した。

- ・かもめ火曜教室（オフィスかなざわ）毎火曜日午後
 - ・かもめ木曜教室（特養わかくさ 地域交流室）毎木曜日午後
 - ・かもめ金曜教室（並木北コミュニティハウス）毎金曜日午後
 - ・かもめ土曜教室（ルンビニー -ふれあいの庭-）毎土曜日午前
- 支援の要請を受けた各小中学校

【従事者人員】ボランティア 108 人

【受益対象者】外国につながる子どもたち 104 人

【支出額】1,900,328 円

エ 情報広報・通訳派遣・翻訳仲介／実施事業

【内容】ラウンジニュースの発行。外国人が生活するうえで必要な情報、各種イベント情報などを多言語でホームページから発信。市民通訳ボランティアの派遣、語学ボランティ

アの通訳者派遣と外部から依頼された翻訳の実施を行った。

【日時】通年。ラウンジニュースは年3回発行した（5月、9月、1月）。

【場所】ラウンジ事務所

【従事者人員】窓口部員・情報広報部員、支援者含めて約15人

【受益対象者】地域に住む外国人・日本人 約1200人（ラウンジニュース発行部数1000部）

【支出額】116,552円

② 国際交流に関する事業

ア ラウンジフェスティバル事業

【内容】ラウンジの紹介、日本語の学習者の発表、異文化紹介アトラクション等を行った。

【日時】2025年11月30日（日）

【場所】金沢公会堂など

【従事者人員】50人

【受益対象者】金沢区、近隣に在住の人及び外国人及び日本人 383人

【支出額】302,142円

イ フリーダムサロン事業

【内容】区内の外国人及び外国につながる子どもたちが気楽に立ち寄り、何でも相談できる居場所を確保した。外国人への情報提供やイベント等において、日本人と外国人が交流し、お互いの理解を深める場とすることができた。

【日時】原則 毎月第1、第3土曜日（PM4時30分～PM6時30分）

【場所】いきいきセンター金沢2階

【従事者人員】常駐者5人、イベント時等増 10人

【受益対象者】金沢区、近隣に在住の外国人及び日本人 80人

【支出額】141,696円

③ 国際理解に関する啓発等の事業

ア 異文化理解・多文化共生・日本文化体験事業

【内容】地域の住民が異文化を知り、お互いの文化の理解を推進した。

外国人とともに生活する中で、外国人の現状を聞き、地域で何ができるかを考えた。

【日時】4回

【場所】金沢公会堂多目的室等

【従事者人員】講師 地域で外国人支援をしている方、母国の話をしてくださる方、スタッフ
53人

【受益対象者】金沢区、近隣に在住の人 128人

【支出額】249,982円

【第2号議案】2025年度 決算報告と監査報告 活動計算書

令和7(2025)年 4月 1日から令和8(2026)年 3月31日

特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会

[税込] (単位: 円)

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	133,000		
賛助会員受取会費	76,000	209,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		61,870	
【事業収益】			
横浜市金沢区事業委託金	12,165,600		
学習者会費	696,000		
翻訳料	54,000		
参加費	51,000	12,966,600	
【その他収益】			
受取利息	6,551		
雑収益	4	6,555	
経常収益計			13,244,025
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	6,817,600		
人件費計	6,817,600		
(その他経費)			
諸謝金	233,609		
印刷製本費	364,159		
会議費	53,827		
旅費交通費	1,398,638		
通信運搬費	371,252		
消耗品費	883,552		
リース料	352,978		
賃借料	493,018		
保険料	162,365		
租税公課	530,280		
研修費	28,500		
支払手数料	15,725		
その他経費計	4,887,903		
事業費計		11,705,503	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	999,600		
法定福利費	59,154		
人件費計	1,058,754		
(その他経費)			
印刷製本費	25,822		
旅費交通費	63,180		
リース料	39,370		
賃借料	6,700		
諸会費	15,000		
保険料	3,031		
租税公課	85,220		
支払手数料	78,270		
雑費	25,000		
その他経費計	341,593		
管理費計		1,400,347	
経常費用計			13,105,850
当期経常増減額			138,175
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			138,175
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			63,675
前期繰越正味財産額			1,619,749
次期繰越正味財産額			1,683,424

貸借対照表

令和8（2026年）3月31日現在

特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会

[税込]（単位：円）

《資産の部》			
【流動資産】			
（現金・預金）			
普通預金	2,740,424		
現金・預金計	2,740,424		
（売上債権）			
未収金	16,642		
売上債権計	16,642		
（その他流動資産）			
前払金	45,200		
その他流動資産計	45,200		
流動資産合計		2,802,266	
資産合計			2,802,266
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	350,266		
前受金	102,000		
預り金	2,876		
未払法人税等	74,500		
未払消費税等	589,200		
流動負債合計		1,118,842	
負債合計			1,118,842
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産	1,619,749		
当期正味財産増減額	63,675		
正味財産合計			1,683,424
負債及び正味財産合計			2,802,266

財 産 目 録

令和8（2026）年3月31日現在

特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会

[税込]（単位：円）

《資産の部》

【流動資産】

（現金・預金）

普通 預金

2,740,424

みずほ銀行上大岡

(2,740,424)

現金・預金 計

2,740,424

（売上債権）

未 収 金

16,642

売上債権 計

16,642

（その他流動資産）

前 払 金

45,200

その他流動資産 計

45,200

流動資産合計

2,802,266

資産合計

2,802,266

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

350,266

前 受 金

102,000

預 り 金

2,876

社会保険料

(2,876)

未払法人税等

74,500

未払消費税等

589,200

流動負債合計

1,118,842

負債合計

1,118,842

正味財産

1,683,424

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 横浜金沢国際交流の会

2026年 3月31日 現在

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理によっています。

2. 事業費の内訳

(1) 事業費の内訳は「別紙 1」の通りです。

(2) 運営管理者謝金、会計担当者謝金は管理費に計上しました。

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

(1) 使途等が制約された寄付金等はありません。

4. 役員及びその近親者との取引の内容

(1) 役員及びその近親者との取引はありません。